

環境学研究科

教育カリキュラムの概要

環境学研究科 教務委員会

2020 年 5月

Graduate School of Environmental Studies

Curriculum Outline

(May, 2020)

by Academic affairs committee



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

環境学研究科の3つのポリシー【博士前期課程】

(1) ディプロマ・ポリシー

育成する人材像（教育目標）

- 環境学の基礎に裏打ちされた思考力で環境問題に果敢に取り組む能力を備えた人
- 文理にまたがる幅広い学問分野を自由に咀嚼する能力を備えた人
- 自らの専門領域に閉じない柔軟な英知を備えた人

【地球環境科学専攻】

確かな基礎に裏打ちされた、地球の環境に関する科学的知見の深化を通して社会に貢献できる能力を備えた人材。

【都市環境学専攻】

人間活動の場である建築，都市あるいは地域における人工環境と自然環境・人間環境の新たな関係を自ら創出する能力を備えた人材。

【社会環境学専攻】

価値規範の妥当性と科学的客観性を備えた政策評価・提言に資する能力，あるいは国内外の社会環境政策に関わる様々な分野の要求に応えることのできる能力を備えた人材。

(2) カリキュラム・ポリシー

(3) アドミッション・ポリシー

環境学研究科の3つのポリシー【博士後期課程】

(1) ディプロマ・ポリシー

育成する人材像（教育目標）

- 環境学の基礎に裏打ちされた思考力で環境問題に果敢に取り組む能力を備えた人
- 文理にまたがる幅広い学問分野を自由に咀嚼する能力を備えた人
- 自らの専門領域に閉じない柔軟な英知を備えた人
- 次世代の新しい学術分野を創造する能力を備えた人

【地球環境科学専攻】

地球の環境に関する世界をリードする科学的知見の深化により，社会に貢献できる能力を備えた人材。

【都市環境学専攻】

人間活動の場である建築，都市あるいは地域における人工環境と自然環境・人間環境の新たな関係を自ら創出し，学術的に理論化する能力を備えた人材。

【社会環境学専攻】

より高度な専門的見地より，価値規範の妥当性と科学的客観性を備えた政策評価・提言に資する能力，あるいは国内外の社会環境政策に関わる様々な分野の要求に応えることのできる能力を備えた人材。

(2) カリキュラム・ポリシー

(3) アドミッション・ポリシー

環境学研究科のカリキュラム Curriculum policy

(1) 分野横断型授業－**横型**
Cross-disciplinary courses

縦横の組合せ

多面的な見方・俯瞰力

(2) 専門特化型授業－**縦型** (従来型)

Deepening understanding in one's specific area

通常の講義の他,

－演習型・対話型授業

Seminars, Interactive subjects

－プロジェクト対応授業

Project-related subjects

－現場参加型授業

On-site subjects

個別の環境問題への取り
組み

行政・NGO・NPO等との
協力

授業科目の区分（前期課程）

Types of subjects (Master's Course)

- 研究科共通 Common subjects
 - **体系理解**科目 Interdisciplinary subjects
分野横断型 Cross-disciplinary
他専攻向け Lectures for other-dept. students
現場, オンサイト型 Field seminar etc.
- 専門科目（各専攻） Specialized subjects (Each department)
 - **I 類**: 講義 (Type 1: Lectures)
 - **II 類**: セミナー (Type 2: Seminars) ※研究指導の一部
 - **III 類**: 演習・実習 (Type 3: Practical exercises/Workshops)
- [**自専攻/他専攻**科目] Subjects at Own/Other Departments
- 研究科外の科目 Subjects at Other Graduate Schools

体系理解科目の一例 「環境学フィールドセミナー」

e.g. “「Field Seminar on Environmental Studies” (Interdisciplinary subject)

田原の風力発電
Wind power generation at Tahara



六条干潟
Rokujo tideland

取得可能な学位 Academic degrees offered at GSES

- 地球環境科学専攻 Dept. of Earth and Env. Sciences
環境学 (Environmental Studies),
理学 (Science)
- 都市環境学専攻 Dept. of Env. Engineering and Architecture
環境学 (Environmental Studies),
工学 (Engineering), 建築学 (Architecture)
- 社会環境学専攻 Dept. of Social and Human Environment
環境学 (Environmental Studies),
法学 (Laws), 経済学 (Economics), 社会学 (Sociology),
地理学 (Geography)

学位取得要件 Curriculum requirements

- 博士前期課程（**修士**） Master's course
 - **30 単位**以上 (A minimum of 30 credits)
 - 研究指導 (Research supervision)
 - 修士学位論文 (Master's thesis)
- 博士後期課程（**博士**） Doctor's course
 - **8 単位**以上 (A minimum of 8 credits)
 - 研究指導 (Research supervision)
 - 博士学位論文・学位試験 (Doctor's thesis, examination)

英語開講科目・英語対応科目（例）

Lectures/Seminars in English (without Japanese)
in Japanese with English

- Sustainability and Environmental Studies（持続可能性と環境学）
- Low Carbon Cities Studies（低炭素都市学）
- Environmental Urban Systems（環境都市システム論）
- English Communication in Environ. Issues（環境コミュニケーション）
- Environmental Industry Systems（環境産業システム論）
- Environmental Politics（環境政治）
- Water and Waste Engineering（水・廃棄物工学）
- Earth and Planetary Physics 1, 2（地球惑星物理学特論1, 2）
- Dynamic Meteorology（大気物理学）
- Building Construction Engineering（建築生産設計工学）
- Environmental Economics（環境経済学）
- Human Geography（人文地理学）

- 縦（専門）・横（分野横断）の組合せ
- 環境学＋その土台となる多様な学位
- 環境関連英語授業の充実